資料１

終末期における終活事業について

１　目的

本市における６５歳以上高齢者数は年々増加しており、高齢者を取り巻く環境も多様になっております。その中で高齢者が住み慣れたまちで過ごし、自らが希望する終末について考え、選択できる体制を構築してくことが課題となっております。

現在、県内他自治体では自治体ごとに独自に作成する統一したエンディングノートなどの終活に関する事業を行っています。また、市内の高齢者よろず相談センターでは独自にエンディングノートを作成、配布を行っているところもあります。

本市においても平成３１年度に終末期における終活事業について検討ワーキング部会を立ち上げたいと考えています。

２　参加メンバー（予定）

・高齢者よろず相談センター
　介護予防事業担当者連絡会（保健師、看護師）
　主任ケアマネ連絡会（主任ケアマネジャー）
　地域支援担当者連絡会（社会福祉士）
　認知症地域支援推進員
・成年後見利用支援センター
・在宅医療・介護連携支援センター

} 各１名

事務局：高齢福祉課、地域包括ケア推進課

３　スケジュール（予定）

平成３１年度より、２か月に１度の頻度でワーキング部会を開催し、在宅医療介護連携推進協議会や地域包括支援センター管理者連絡会等で適宜、進捗報告する予定です。また、本部会の成果物として「平塚版エンディングノートの作成」を想定しています。

平成３１年度（予定）

月	４	５	６	７	８	９	１０	１１	１２	１	２	３
部会		１回		２回		３回		４回		５回		６回
推進協議会				第１回				第２回				第３回

≪今後に向けて≫

終末期での意思表示について、各現場での状況、課題といったことや検討部会に期待すること、検討して欲しいことがありましたら御意見をお願いします。